

福山市長 様

全中学校に自校方式の完全給食を実施することを求める要望書名

今、子どもを取りまく環境は悪化し、子どもの6人に1人は貧困家庭と言われています。ひとり親家庭が増加し、母親の労働状況も厳しく、1日3食の食事をきちんととれていない児童生徒がいることが懸念され、学校給食の果たす役割はますます重要となっています。政府や文部科学省もこの事態を憂慮し、食育法を制定し、学校給食法を改正し

ました。そして、児童生徒の健全育成を図るため、中学校完全給食の実施が全国に広がってきました。

福山市も今年9月から駅家中学校（センター方式）と加茂中学校（親子方式）で完全給食の試行を行い、その後検討するとしています。

しかし、残る26校の実施についての方向性は明らかにされておりません。

中学校完全給食の全国実施率は90%に迫ろうという今、福山市での実施は待ったなしの課題です。

また、方式については、各中学校で炊飯・調理する自校方式が安全面や衛生面のみならず教育的効果が高いことは周知の事実です。

今後の方向や年次計画を明らかにし、一日も早く福山市全ての中学校で完全給食を実施していただきますようお願いいたします。

【要望項目】福山市全ての中学校で自校方式を基本とした完全給食を実施すること。

名 前	住 所

中学校給食を実現する会
代表 永島 利恵子
福山市西深津町6丁目7-25
Tel：084-924-3514

取扱団体

ご記入いただいた個人情報は署名提出以外の目的に使用することはありません。

子育て2つの要望署名

福山市長 様

中学卒業まで医療費無料化を求める要望署名

～ 福山の宝である子どもたちを、健やかに育むことができる環境をめざして ～



福山市は、子どもの入院は小学校6年生まで、通院は就学前まで医療費の助成があります。この制度のおかげで、保護者の経済的負担が軽くなり、安心して病院にかかることができます。

しかし、他の42中核都市では、入院・通院とも中学卒業まで助成が14市（高卒まで含む）、福山市より助成がすすんでいる市は30市もあり、福山市は最低レベルです（2014年4月時点）。

周辺市町でも、府中市が新たに中学卒業まで入院・通院ともに無料にするなど、助成拡充の動きが広がっています。

福山市がおこなった市民意識調査や、日本共産党が市内の保護者におこなったアンケートでも、子どもの医療費助成などの支援制度を求める声は高く、多くの保護者の切実な願いです。子どもの貧困も問題になっている今、すべての子どもがお金の心配なく、安心して必要な医療を受けられるよう、対象年齢を拡大し、子育てしやすい福山市を実現してください。

【要望項目】福山市の「乳幼児等医療費助成事業」の対象年齢を入院・通院ともに中学卒業まで拡充し、一部負担金をなくしてください。

名 前	住 所

取扱団体